



2023年10月3日

各 位

会 社 名 株式会社放電精密加工研究所  
 代 表 者 名 代表取締役社長 村田 力  
 (コード番号 6469)  
 問合せ先責任者  
 役職・氏名 取締役  
 財務・情報開示担当  
 大村 亮  
 電 話 045-277-0330

2024年2月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異  
 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年4月6日に公表いたしました2024年2月期第2四半期累計期間（2023年3月1日～2023年8月31日）の連結業績予想と実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の動向を踏まえ、2023年4月6日に公表いたしました2024年2月期通期（2023年3月1日から2024年2月29日）の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 第2四半期連結業績予想と実績値の差異

2024年2月期第2四半期累計 連結業績予想（2023年3月1日～2023年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,804	△186	△201	△140	△19.77
実績 (B)	5,747	△33	△31	△6	△0.86
増減額 (B - A)	△56	152	170	134	—
増減率 (%)	△1.0	—	—	—	—
(ご参考) 前第2四半期実績 (2023年2月期第2四半期)	6,025	△52	△51	△22	△3.15

## 差異の発生理由

第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、売上高では放電加工・表面処理セグメントで52百万円、金型セグメントで49百万円の増収となりましたが、機械装置等セグメントで157百万円の減収となり全体で56百万円の減収となりました。営業利益につきましては、機械装置等セグメントの減収により22百万円の減益となりましたが、放電加工・表面処理セグメントで98百万円、金型セグメントで34百万円の増益となり全体で152百万円の増益となりました。これは徹底した経費削減に加え、資材費やエネルギー費などの高騰分を価格転嫁したことによるものであります。経常利益につきましては、営業利益の増益のほか、計画外の雑収入等により増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益などにより増益となりました。

## 2. 通期連結業績予想の修正

2024年2月期通期 連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,433	122	94	59	8.39
今回修正予想 (B)	12,279	123	116	94	13.27
増減額 (B - A)	△153	0	22	34	—
増減率 (%)	△1.2	0.6	23.3	58.3	—
(ご参考) 前期実績 (2023年2月期)	11,679	△311	△322	△1,288	△180.88

### 修正の理由

2024年2月期通期の連結業績予想につきましては、売上高は、放電加工・表面処理セグメントの航空機エンジン部品やガスタービン部品などの受注が増加することから増収となる見通しですが、機械装置等セグメントのデジタルサーボプレス機が直近の受注状況を勘案し売上見通しを引き下げたことから、4月に公表した業績予想に対して、153百万円の減収となる見通しです。

営業利益以下の段階利益は、製造固定費の削減に加え、資材費やエネルギー費などの高騰分を価格転嫁や経営努力により抑えることで増益となる見通しです。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社において判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

以上